



大森山動物園の写生大会は、毎年7月に行われます。  
今年も、たくさんの親子が参加してくれました！

市長コラム

# 日っネの心

秋田市長 ● 穂積 志(もとむ)

## 心ふれあう写生大会

秋、澄んだ夜空に輝く月の光や、東の空からオレンジ色に染まっていく朝焼けをみていると、その神々しさからか、知らず知らずのうちに、自然に手を合わせたく

なります。人の眠りは太陽の動きによる体内時計に深く関係するといわれておりますし、月の変化も人間の体調や脳の働きに微妙に影響するという話も聞きます。そのようなことから、人間の為すこととは少なからず月と太陽に支配されている、と思う時があります。

そんな折、秋篠宮ご夫妻の長女眞子さまと小室 圭さんが婚約記者会見において、月と太陽を引き合いに出されておりました。眞子さまは小室さんについて、「温かく励ましてくださる存在」「太陽のような明るい笑顔」、小室さんは眞子さまについて、「月のように静かに見守ってくださる存在」「愛情深く、確たる信念をお持ち」。

しばしば絵画でも描かれる月と太陽を見事に言葉で表現していて、二人の豊かな表情と合わせとても微笑ましく印象的でした。

さて、秋といえば芸術の秋でもあります。今回は大森山動物園の「親と子のふれあい写生大会」をご紹介します。昭和52年に始まった歴史ある大会は今年で40回目を迎え、当時、子どもだった親が、今度は自分の子どもと一緒に参加している例もあるそうです。主役はもちろん親と子ですが、この大会が長年続いた陰には、市内小・中学校の美術教師などで構成される「秋田市造形教育研究会」の熱意があり、また、たくさんの方の協賛各社が大会の運営を支えてくれたことがあります。

この号の表紙に掲載したライオンは、今回、市長賞に輝いた神坂春磨くん(小学2年生)の作品です。たてがみの迫力とその中で見つめ

るやさしい瞳、丁寧な色使いなど、きつとライオンと正面から向き合い、相手の心を感じとり、我慢強く観察する力があつたからこそ描けたのではないかと思います。

動物の写生は、子どもたちが命と対話し愛着を持つことで感性を磨き、豊かな情操を育むうえでも貴重な機会だと考えます。動物園では、ここ10年程の優秀作品を園内ギャラリー風に表示しています。動物園の鑑賞も兼ねて散策すると動物園の楽しみ方もさらに広がります。なお、このような常設の展示例は、国内の動物園はもちろんです。世界にも珍しいこのことでした。

さあ、秋もいよいよ深まってきました。どこまでも澄みわたる青空の下、カメラもいいですがときには絵筆を手にとってみるのもいいですね。



優秀作品を園内に展示しています

県立中央公園で行われた総合開会式。秋田県選手団入場(左)と代表選手による宣言の様子



太極拳

ねんりんピック秋田2017  
交流の輪を広げ  
絆を深めた4日間

9月9日から12日までの日程で開催された「ねんりんピック秋田2017」は、全国からたくさんの選手団・応援団を迎え入れ、盛況のうちに幕を閉じました。

秋田市ではテニス・ゴルフ・弓道・水泳・サッカー・太極拳・ダンススポーツの7種目が行われ、どの会場でも、真剣な表情で競技にのぞむ姿、そしてはつらつとプレーするみなさんの素敵な笑顔が印象的でした。

この大会を通して育まれた絆がいつまでも続きますように！

秋田からつなぐれ！

つらなれ！長寿の輪、

秋田市ねんりんピック推進室

☎(888)5678



テニス



ゴルフ



ダンススポーツ



弓道



サッカー



水泳

**小学生の部**  
最優秀賞▶金真凜(八橋)  
優秀賞▶博山凜(港北)  
佳作▶加藤彩(港北)、柴田将冨・川村亜暢(以上土崎)、藤田彩那・田中樹里・鈴木愛理(以上明徳)、浅野友那・米屋陽香(以上飯島)

**中学生の部**  
最優秀賞▶本郷愛奈(太平)  
優秀賞▶進藤絢世(將軍野)  
佳作▶成田莉子・大山侑香(以上將軍野)、前田莉緒・角田聖弥・半田夏希・山本帆乃佳・三浦琉生・渡部千華(以上土崎)

\* ( )内は学校名。敬称略。

☎(888)5661

小・中学生から募集した「平和へのメッセージ」に148点の応募があり、審査の結果、次のみなさんが入賞しました。最優秀賞作品は、ホームページでご覧になれます。福祉総務課地域福祉推進室

届け平和のメッセージ



最優秀賞の金真凜さん(右)と本郷愛奈さん(8月30日の表彰式で)